

第14回吉見町立小学校統合再編準備委員会会議録（要点筆記）

会 議 の 名 称	第14回吉見町立小学校統合再編準備委員会
開 催 日 時	令和8年7月7日（火）午後2時00分から午後3時50分まで
開 催 場 所	吉見町役場3階 大会議室
出 席 委 員	久保田秀至委員長、小池幸副委員長、松本亜紀子委員、瀬山瑞樹委員、小高菜穂子委員、内田利之委員、栗田隼人委員、田村はるみ委員、川村恵美委員、前田由美子委員、小澤美穂子委員、齊藤浩正委員、高田享委員、野口千津子委員、山本享委員、橋本慎也委員、横田進委員、内野房雄委員、芳野悦青委員、新井力三委員、吉田公敏委員、小澤俊則委員
欠 席 委 員	金井和利委員、石川あかね委員
事 務 局	教育長：岡崎康友、教育総務課長：中村仁志、同課長補佐：磯田和伸、同小学校統合準備係長：松本晃、同学校教育推進支援員：内田哲雄
協 議 事 項	1. 開会 2. 委嘱状の交付 3. 挨拶 4. 自己紹介 5. 議事 （1）小学校統合再編に関する経緯について （2）統合再編準備委員会の活動内容等について （3）施設整備手法の基本的な方向性について （4）今後のスケジュールについて 6. 事務連絡 7. 閉会
配 布 資 料	資料1：吉見町立小学校統合再編準備委員会委員名簿 資料2：小学校統合再編に関する経緯について 資料3：統合再編準備委員会の活動内容等について 資料4：施設整備手法の基本的な方向性について 資料5：今後のスケジュールについて 参考資料1：吉見町立小学校統合再編準備委員会設置要綱 参考資料2：児童数の推移と今後の見込みについて

司会（事務局）	1. 開会
教育長	2. 委嘱状の交付 新任委員を代表し、松本亜紀子委員に委嘱状を交付。（新任20名） （委員の任期は、委嘱の日から所掌事務が終了するまでの期間）
教育長	3. 挨拶 教育長より挨拶がされた。
委員長	久保田委員長より挨拶がされた。
委員・事務局	4. 自己紹介 各委員の紹介の後、事務局職員の紹介。
事務局	4. 議事 本準備委員会設置要綱第6条第1項の規定により、進行については、委員長をお願いします。
委員長	議事（1）小学校統合再編に関する経緯について、事務局より説明を求めます。
事務局	議事（1）小学校統合再編に関する経緯について 【資料2】小学校統合再編に関する経緯について 資料に基づき、小学校統合再編についてこれまでの経緯を説明。
委員長	質疑等をお受けします。 （質疑等なし）
委員長	議事（2）統合再編準備委員会の活動内容等について、事務局より説明を求めます。
事務局	議事（2）統合再編準備委員会の活動内容等について 【資料3】に基づき、統合再編準備委員会の活動内容等について説明。
委員長	質疑等をお受けします。

委員	体育着について、開校することが決定しているので、開校時に在学する児童に対して購入ができるようにならないか。
事務局	当初は令和 8 年度入学児からの導入を予定し販売準備を進めていましたが、計画の立ち止まりにより一旦中止しました。今後、開校時期が決定次第、業者と在庫調整を行い、開校前の適切な時期に販売できるように努めてまいります。
委員	開校時期はいつになるのか。また、委員会にはどの段階で開校時期を示してもらえるか。
事務局	現在、9 月末を目途に整備スケジュールを含め、基本計画等の見直しを行っており、11 月を目途に住民説明会を行う予定です。その段階では開校時期を含めて周知したいと考えています。説明会前に基本計画の案を準備委員会で協議いただくため、案をお示しする 9 月末には開校時期をお示しできる予定です。
委員	総務部会の構成員についてはどのように決定したか。
事務局	部会であるため、委員会に比べ人数を絞っており、小学校の児童に関する事項がほとんどのため、小学校の保護者・校長を中心に構成しています。
委員	学校運営部会で協議をする教育課程等とは、具体的にどのような内容か。
事務局	学校での教育に関する方向性や、学校行事の内容や時期についてなどを想定しています。
委員長	議事（3）施設整備手法の基本的な方向性について、事務局より説明を求めます。
事務局	議事（3）施設整備手法の基本的な方向性について 【資料 4】に基づき、施設整備手法の基本的な方向性について説明。

委員長	本日の資料について、委員の皆さんが PTA や地域の会議等で周知することは差し支えないか。
事務局	差し支えありません。
委員長	質疑等をお受けします。
委員	コストについて、現時点でいくらになるのか。
事務局	基本計画の見直し後に設計を実施していくため、現時点でお答えすることはできません。
委員	多目的ホールは小学生のみが使用するのか。また、体育の授業でも使用するのか。多目的ホールを小学生がメインで利用するとすると、現在プレハブ校舎が建っている場所に設置する場合、距離的に遠いと思う。検討過程の資料も本日の資料にあるが、現時点で決定している事項は、多目的ホールを建設することのみで、位置などについては今後の検討という認識で間違いないか。
事務局	中学校が多目的ホールを使用する場合も想定しており、高さが必要なものには使用できませんが、体育の授業に使用できるものを想定しています。多目的ホールの位置については図面の位置で決定しているわけではないため、今後基本設計を行っていく段階で位置を決定してまいります。
委員長	多目的ホールの位置についての意見は、委託業者と共有し、参考としてもらいたい。
委員	特別教室棟について、共用または小学校機能を有する教室に改修としているが、具体的にどの教室を共用するのか、どのような教室を設置する予定か。また、職員室、保健室は新設校舎に建設する予定か。レイアウトが準備委員会に示されるのはいつか。
事務局	原案の時点で、家庭科室および美術室について共用することとなっていました。見直し案では理科室や音楽室も共用することで計画しています。また、小学校機能を有する教室については、普通教室、特別支援教

	室、生活科室、職員室、保健室等、どの教室を設置するかは現時点では決定しておらず、今後の設計段階で検討を進めていく予定です。 具体的なレイアウトについては、現在基本計画の見直しを行っている段階であり、今後基本設計を実施していくなかで示したいと考えています。
委員	特別支援教室については、職員の目が届き、声が掛けやすい環境に設置するべきだと思うので、特別教室棟に設置すると、少し遠くなってしまう。そのため、設置するのであれば高学年の教室にするのがよいのではないか。
委員長	教室の配置について、最終的な決定権は校長にあるが、先程の意見は、貴重な意見であるので、事務局は設計段階で参考にしていきたい。
委員	小中一貫にするメリットについて何があるのか。
事務局	開校時は小学校と中学校で施設を共用する予定ではありますが、小学校と中学校はそれぞれ独立した学校として計画しています。同敷地に小学校を建設することは、お互いの学校の職員が、児童生徒の情報等を共有しやすい環境となるため、小学校と中学校の連携が今まで以上に図れるようになる利点があります。 小中一貫の一番のメリットとすると、義務教育9年間を見据えた教育課程を編成できることが挙げられます。小中一貫教育の全国的な流れを踏まえ、吉見町としても将来を見据えた検討を進めていくことが重要と考えます。どのタイミングから舵を切るのかについては今後さらに検討を深めていく必要があります。将来的に小中すべての学年で2クラスになるタイミングが来るため、新設校舎に18教室整備すれば、中学生も新設校舎の教室で授業を進めていくことができることも視野にいらしております。
委員	プールについては今後検討していくとあるが、既存のプールを活用する場合、近年の猛暑等で屋外での授業が実施できないことが増えており、気候対策の実施や他の施設の利用も検討すべきだと思うが。
事務局	新設校舎の規模縮小に伴い、中学校プールを残すことも可能となりましたが、現時点では活用するかどうか決定しておりません。気候の問題や

	施設も老朽化しており、今後のプール指導については外部委託等も含め、検討を進めてまいります。
委員	見直し前の総事業費は計画当時いくらであったか。
事務局	見直し前については実施設計前であったため、概算費用にはなるが、令和7年3月時点での校舎建設費用および外構等を含めた概算額は約55億円でした。
委員	今までの計画から見直しを行うのであれば、最終的に見直しの効果を検証する必要があると考える。
委員	建設工事中の騒音対策はどのように考えているのか。中学生の授業に支障がないような配慮をお願いしたい。
事務局	設計については今後行っていくため、近隣住民や中学生に十分配慮した工程管理や施工を実施してまいります。工事着手前に近隣住民に対する説明会の実施を予定しています。
委員長	先程の中学生への配慮についての意見は、基本計画や基本設計等の段階で業者にも共有して、ぜひとも配慮いただきたい。
委員	校舎の構造について、鉄筋コンクリート造から鉄骨造へ見直しが行われるようだが、当初は比較した結果鉄筋コンクリートを採用したと思うが、今回鉄骨造を採用する理由は何か。また、暑さ対策についてはどのように考えているのか。
事務局	鉄筋コンクリート造、鉄骨造それぞれにメリット、デメリットがあります。当初は鉄筋コンクリート造で設計しておりましたが、建設コストおよび解体までを含めたライフサイクルコストの縮減の観点、工期短縮の観点から鉄骨造を選択することとなりました。鉄骨造においても、外壁材や床材等により、遮音性、耐震性、遮熱性は確保でき、学校施設の基準を十分満たすような建物を建設したいと考えています。
委員	コスト縮減等も大事ではあるが、できるだけ良いものを子供たちのために建設してもらいたい。

委員長	すでに鉄骨造により建設がされている学校もあると思うので、それらの事例を参考にしながら、先程の意見でもあったとおり、子どもたちにとってより良い校舎を建設してもらいたい。
委員長	議事（４）今後のスケジュールについて、事務局より説明を求めます。
事務局	議事（４）今後のスケジュールについて 【資料５】に基づき、今後のスケジュールについて説明。
委員長	先程、委員の質問で、住民説明会前に準備委員会で開校時期の説明があるとあったが、資料５によれば９月の準備委員会で示されるということか。
事務局	開校時期の正式決定となれば条例改正が必要となりますが、基本計画の見直しは９月末を目途にまとめる予定ですので、９月の準備委員会には開校時期の見通しについてお示しできると考えています。
委員長	はじめての方も多いい中、慎重審議、また、多くの貴重な意見をいただき感謝する。次回までに時間もあるので、所属の組織や地域の皆様へ情報提供いただき、次回に臨んでいただけたらと思う。本日の議事が終了したので、議長の任を解かせていただく。
事務局	６．事務連絡 統合再編準備委員会の会議録について説明。 会議録の仕様は要点筆記とし、委員の皆様を確認いただいた後、決定いたします。議事録については原則公開します。 次回の会議の日程について説明 次回、第１５回吉見町立小学校統合再編準備委員会について、８月７日午後２時から開催予定です。後日改めて通知します。
副会長	６．閉会 小池副委員長より挨拶がされた。

